

令和7年度

第2回町営牧場運営委員会議案

日 時 令和8年2月26日(木) 午前10時
場 所 幕別町役場2階 2-A・B会議室

日程

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 報告事項
 - 報告第1号 令和7年度入牧状況について
 - 報告第2号 令和7年度収支状況について
 - 報告第3号 令和7年度入牧牛の疾病対策について
 - 報告第4号 令和7年度入牧牛の疾病発生状況について
 - 報告第5号 令和7年度入牧牛受胎・受精卵移植状況について
 - 報告第6号 町営牧場の在り方に関するアンケート調査の実施結果について
- 4 協議事項
 - 協議第1号 令和8年度町営牧場運営計画について
 - 協議第2号 令和8年度町営牧場収支予算案について
- 5 その他
- 6 閉会

3 報告事項

報告第1号 令和7年度入牧状況について

(1) 入牧期間及び日数

※参考(R6年度)

共栄牧場	5/24～10/20	149日間	5/27～10/9	135日間
中当第2牧場	5/21～10/16	148日間	5/22～10/17	148日間
晩成牧場	5/22～10/15	146日間	5/23～10/16	146日間
南勢牧場	5/14～10/22	161日間	5/16～10/22	159日間

(2) 入牧実績

()内は、戸数、[]内は実戸数 令和7年10月22日預託事業終了時点

		牧場名	R7年度	R6年度	対前年		R5年度	R4年度	R3年度	備考
入牧頭数	乳牛	共栄	0 ()	0 ()	0 (0)		69 (4)	39 (4)	22 (5)	妊娠牛
		晩成	478 (6)	485 (6)	△ 7 (0)	98.6%	394 (6)	394 (7)	422 (9)	妊娠・授精・育成牛
		中2	56 (4)	77 (4)	(0)		()	()	()	妊娠牛
		小計	534 (10)	562 (10)	△ 28 (0)	95.0%	463 (10)	433 (11)	444 (14)	
		幕別	南勢	399 (2)	405 (2)	△ 6 (0)	98.5%	357 (3)	433 (3)	450 (4)
		計	933 (12) [9]	967 (12) [9]	△ 34 (0) [0]	96.5% 100.0%	820 (13) [10]	866 (14) [11]	894 (18) [13]	
	肉用雌牛	共栄	63 (1)	75 (1)	△ 12 (0)	84.0%	55 (1)	42 (1)	45 (1)	妊娠牛
		晩成	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	
		小計	63 (1)	75 (1)	△ 12 (0)	84.0%	55 (1)	42 (1)	45 (1)	
		幕別	南勢	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		計	63 (1) [1]	75 (1) [1]	△ 12 (0) [0]	84.0% 100.0%	55 (1) [1]	42 (1) [1]	45 (1) [1]	
忠類地区合計		597 [7]	637 [7]	△ 40 0	93.7%	518 [7]	475 [8]	489 [10]		
幕別地区合計		399 [2]	405 [2]	△ 6 0	98.5%	357 [3]	433 [3]	450 [4]		
合計(実頭数)		996 [9]	1,042 [9]	△ 46 0	95.6%	875 [10]	908 [11]	939 [14]		
使用料	乳牛(千円)	30,049	32,288	△ 2,239	93.1%	25,321	24,298	24,263		
	肉用雌牛(千円)	1,871	1,889	△ 18	99.0%	1,492	1,226	1,101		
	計	31,920	34,177	△ 2,257	93.4%	26,813	25,524	25,364		
捕獲料		950	1,020	△ 70	93.1%	840	848	930		
合計(千円)		32,870	35,197	△ 2,327	93.4%	27,653	26,372	26,294		

※入牧した牧場で頭数をカウント（牧場移動後の頭数ではない）

※晩成牧場で受胎確認できた乳牛 60 頭（前年 50 頭）を中当第2牧場へ移動した。

報告第2号 令和7年度収支状況（見込額）について

(歳入)

(千円)

科 目	R7年度 決算見込	R7年度 予算額	R6年度 決算額	対前年	備 考
入 牧 料	31,920	32,708	34,177	▲ 2,257	南勢12,994千円(399頭) @260円/日 忠類18,926千円(597頭) 合計996頭
捕 獲 料	950	1,000	1,020	▲ 70	南勢184千円(92頭) @2,000円/頭 忠類766千円(383頭) 合計475頭
その他収入	1,106	1,167	1,046	60	生牧草売払い 683千円 医薬材料費負担金 423千円
合 計	33,976	34,875	36,243	▲ 2,267	

(歳出)

(千円)

科 目	R7年度 決算見込	R7年度 予算額	R6年度 決算額	対前年	備 考
報 酬	64	127	58	6	町営牧場運営委員会委員報酬(2回分)
人件費	33,378	36,442	26,619	6,759	フルタイム6人・パートタイム5人給料等27,932 共済費等5,446
需用費	30,010	30,010	29,336	674	肥料費19,382(南9,554、忠9,828) 修繕費 3,166、光熱水費2,764 医薬材料費2,795、鉍塩ほか1,903
役務費	890	912	889	1	電話料181、建物災害保険料169 自動車損害保険料423(南9台、忠9台) 車検手数料ほか117
委託料	4,396	8,151	4,393	3	肥料散布4,157、受水槽清掃88 ポンプ室管理83、浄化槽保守ほか68
使用料	1,525	1,525	1,522	3	牧場移動家畜車借上料261 重機借上ほか1,264
工事請負費	0	0	0	0	
原材料費	1,100	1,100	1,100	0	牧柵用資材
備品購入費	22	0	0	22	刈払機(南1台)
その他支出	145	166	160	▲ 15	自動車重量税123、費用弁償22
合 計	71,530	78,433	64,077	7,453	
収支差引	▲ 37,554	▲ 43,558	▲ 27,834	▲ 9,720	

報告第3号 入牧牛の疾病対策について

(1) BVDウイルス個体検査

ワクチン接種時に対象牛の検査を実施。

- ・忠類地区 89頭 (4/14・15 5戸)

(2) 予防接種

入牧牛の感染疾病予防対策として、幕別町家畜伝染病自衛防疫組合で実施。

4月中以降にBVDウイルス検査と合わせて巡回接種。

- ・忠類地区 牛6種混合ワクチン(4/14~16・18、5/19、6/23)

ワクチン代畜主負担(牛6種混合ワクチン1,586円)

(3) 入牧牛駆虫薬塗布 (アイボメック・トピカル)

消化器官内の線虫類や外部寄生虫の駆除及びマダニによる吸血の抑制、感染予防

- ・共栄牧場 (5/24、6/30、7/20)

- ・中当第2 (5/21、7/24)

- ・晩成牧場 (5/22・26~28、7/20・24、9/3・17・20)

- ・南勢牧場 (5/14・23・30、6/2・6・26、7/10・16・30、9/8) 延べ頭数 976頭

1頭当たりの畜主負担額 167.9889円 (町同額負担、昨年度 129.5505円)

} 延べ頭数 1,545頭

(4) 虫除けイヤータグの装着

ハエ・アブなどの牛体寄生によるピンクアイの発生予防

- ・忠類地区 予防接種時装着、一部入牧時の装着

- ・南勢牧場 入牧時の装着

1頭当たり2枚(両耳) 1,650円(町負担)

(5) 牛用AHCミックス投与によるイボ等の対策

飼料添加物AHCミックスをイボ対策として経口投与、皮膚病部分に噴霧。

報告第4号 入牧牛の疾病発生状況について

(1) 町営牧場全体

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	うち死亡	※参考 R6	対前年	R5	R4	R3	R2
病 名	ピロプラズマ病														
	ピンクアイ		4	6	10		1	21		49	△ 28	63	9	43	40
	趾間腐爛	5	17	24	29	8	2	85		128	△ 43	113	110	209	84
	趾皮膚炎									6	△ 6		2		
	未経産乳房炎														1
	消化器病											1			
	肺炎		1		1				2	2		3	1	1	1
	流産												2		1
	繁殖障害														
	外傷		1		1				2	1	1	3	4		
	その他		6	2	4				12	22	△ 10	14	10	10	8
	合計	5	29	32	45	8	3	122		208	△ 86	197	138	263	135

(2) 南勢牧場、忠類地区牧場別

		南勢								忠類計							
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	うち死亡	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	うち死亡
病 名	ピロプラズマ病																
	ピンクアイ		4	6	10		1	21									
	趾間腐爛	1	3	8	8	4	2	26		4	14	16	21	4		59	
	趾皮膚炎																
	未経産乳房炎																
	消化器病																
	肺炎										1		1			2	1
	流産																
	繁殖障害																
	外傷										1		1			2	
	その他				1			1			6	2	3			11	
	合計	1	7	14	19	4	3	48		4	22	18	26	4		74	1

報告第5号 入牧牛受胎・受精卵移植状況について

乳用牛下段（ ）は雌雄判別精液を除いた頭数、受胎率

			南勢牧場			忠類地区牧場			合計			総計		
年度			頭数	受胎頭数/率	未受胎頭数/率	頭数	受胎頭数/率	未受胎頭数/率	頭数	受胎頭数/率	未受胎頭数/率	総頭数	受胎頭数/率	未受胎頭数/率
R7	授精	乳用牛	92 (92)	90/97.8 (90/97.8)	2/2.2 (2/2.2)	383 (93)	334/87.2 (91/97.8)	49/12.8 (2/2.2)	475 (185)	424/89.3 (181/97.8)	51/10.7 (4/2.2)	475	424/89.3	51/10.7
		肉用雌牛	0	0/00.0	0/0.00	0	0/—	0/—	0	0/—	0/—			
	受精卵	乳用牛	1	1/100.0	0/0.00	2	1/50.0	1/50.0	3	2/66.7	1/33.3			
R6	授精	乳用牛	87 (87)	80/92.0 (80/92.0)	7/8.0 (7/8.0)	420 (105)	373/88.8 (89/84.8)	47/11.2 (16/15.2)	507 (192)	453/89.4 (169/88.0)	54/10.6 (23/12.0)	510	455/89.2	55/10.8
		肉用雌牛	0	0/00.0	0/0.00	0	0/—	0/—	0	0/—	0/—			
	受精卵	乳用牛	1	1/100.0	0/0.00	2	1/50.0	1/50.0	3	2/66.7	1/33.3			
R5	授精	乳用牛	73 (73)	64/87.7 (64/87.7)	9/12.3 (9/12.3)	345 (137)	268/77.7 (99/72.3)	77/22.3 (38/27.7)	418 (210)	332/79.4 (163/77.6)	86/20.6 (47/22.4)	422	335/79.4	87/20.6
		肉用雌牛	0	0/00.0	0/0.00	0	0/—	0/—	0	0/—	0/—			
	受精卵	乳用牛	0	0/00.0	0/0.00	4	3/75.0	1/25.0	4	3/75.0	1/25.0			
R4	授精	乳用牛	93 (93)	79/85.0 (79/85.0)	14/15.0 (14/15.0)	327 (146)	301/92.1 (128/87.7)	26/7.9 (18/12.3)	420 (239)	380/90.5 (207/86.6)	40/9.5 (32/13.4)	423	383/90.5	40/9.5
		肉用雌牛	0	0/00.0	0/0.00	0	0/—	0/—	0	0/—	0/—			
	受精卵	乳用牛	0	0/00.0	0/0.00	3	3/100	0/0	3	3/100	0/0			
R3	授精	乳用牛	113 (113)	100/88.5 (100/88.5)	13/11.5 (13/11.5)	323 (129)	283/87.6 (107/82.9)	40/12.4 (22/17.1)	436 (242)	383/87.8 (207/85.5)	53/12.2 (35/14.5)	450	396/88.0	54/12.0
		肉用雌牛	0	0/00.0	0/0.00	0	0/—	0/—	0	0/—	0/—			
	受精卵	乳用牛	14	13/92.9	1/7.1	0	0/—	0/—	14	13/92.9	1/7.1			
R2	授精	乳用牛	92 (92)	76/82.6 (76/82.6)	16/17.4 (16/17.4)	295 (127)	263/89.2 (108/85.0)	32/10.8 (19/15.0)	387 (219)	339/87.6 (184/84.0)	48/12.4 (35/16.0)	405	355/87.7	50/12.3
		肉用雌牛	0	0/00.0	0/0.00	2	2/100	0/—	2	2/100	0/—			
	受精卵	乳用牛	8	6/75.0	2/25.0	8	8/100	0/—	16	14/87.5	2/12.5			
R元	授精	乳用牛	87 (87)	77/88.5 (77/88.5)	10/11.5 (10/11.5)	327 (129)	297/90.8 (122/94.6)	30/9.2 (7/5.4)	414 (216)	374/90.3 (199/92.1)	40/9.7 (17/7.9)	420	379/90.2	41/9.8
		肉用雌牛	5	4/80.0	1/20.0	0	0/—	0/—	5	4/80.0	1/20.0			
	受精卵	乳用牛	0	0/—	0/—	1	1/100	0/—	1	1/100	0/—			
30	授精	乳用牛	113 (113)	94/83.2 (94/83.2)	19/16.8 (19/16.8)	320 (120)	256/80.0 (104/86.7)	64/20.0 (16/13.3)	433 (233)	350/80.8 (198/85.0)	83/19.2 (35/15.0)	454	366/80.6	88/19.4
		肉用雌牛	7	4/57.2	3/42.8	7	5/71.4	2/28.6	14	9/64.3	5/35.7			
	受精卵	乳用牛	5	5/100	0/—	2	2/100	0/—	7	7/100	0/—			

報告第6号 町営牧場の在り方に関するアンケート調査の実施結果

1 アンケート調査の概要

(1) アンケートの目的

利用戸数が減少傾向となっている町営牧場について、今後の運営方針を策定するにあたり、町内の牛飼養者に対して町営牧場の利用意向等に関するアンケート調査を実施し、運営方針を策定するための参考とする。

(2) 調査対象

町内の牛飼養者 120戸（南勢牧場区域 77戸、忠類地区牧場区域 43戸）

(3) 調査方法

紙媒体による郵送及びインターネットによるWebアンケート調査

(4) 調査期間

令和7年9月1日配布、10月31日を回答期限として回収

(5) 回収状況

45.8% 55件：南勢牧場 30件（39%）・忠類地区 23件（53.5%）・不明 2件
回答方法：紙34件、ネット21件

2 調査の結果

設問1 町営牧場を知っていますか。

- 1 知っている 52件（南勢牧場 29件・忠類地区 21件 地域不明 2件）
- 2 知らない 1件（南勢牧場 1件・忠類地区 0件）

○町内の牛飼養者に町営牧場の周知は十分なされている。

設問2 町営牧場を今後利用する意向があるか教えてください。

- 1 利用している、今後も利用の予定あり
8件（南勢牧場 2件・忠類地区 6件）
- 2 利用している、今後は利用の予定なし
0件（南勢牧場 0件・忠類地区 0件）
- 3 過去に利用したことがある、今後は利用の予定あり
2件（南勢牧場 2件・忠類地区 0件）
- 4 過去に利用したことがある、今後は利用の予定なし
13件（南勢牧場 5件・忠類地区 7件 地域不明 1件）
- 5 利用なし、今後は利用の予定あり
1件（南勢牧場 1件・忠類地区 0件）
- 6 利用なし、今後も利用の予定はなし
27件（南勢牧場 18件・忠類地区 8件 地域不明 1件）

○利用戸数は全体として3件の増となっており、地区別では、南勢牧場3件増、忠類地区0件となっている。

設問3 今後、町営牧場に預ける予定頭数を教えてください。

5年後 1,195頭（南勢牧場 410頭・忠類地区 785頭）

10年後 1,595頭（南勢牧場 410頭・忠類地区 1,185頭）

※参考：R7 996頭（南勢牧場 399頭・忠類地区 597頭）

○預託頭数は現状と比較して、全体では増となっており、地区別では、南勢牧場は横ばい、忠類地区は5年後は200頭の増、10年後は600頭の増となっている。

設問4 お住いの地域（幕別地域、忠類地域）と同地域の町営牧場に預けられない場合、次の選択肢の中から当てはまるものを選んでください。

1 住んでいる地域以外に預ける意向はない

7件（南勢牧場 2件・忠類地区 5件）

2 別地域の町営牧場に預ける意向がある

1件（南勢牧場 1件・忠類地区 0件）

3 町外の公共牧場等に預ける意向がある

2件（南勢牧場 2件・忠類地区 0件）

○現在町営牧場を利用している畜主で住んでいる地域以外に預けると回答した方は0件となっており、住んでいる地域以外に預ける意向はない。

設問5 「町外の公共牧場等に預ける意向がある」を選んだ場合、その牧場名を記載してください。

・湧洞牧場（1件）、中札内村大規模育成牧場（1件）

設問6 町営牧場を利用しない理由を教えてください。（複数回答可）

1 自家（社）牧場で間に合っているから

29件（南勢牧場 18件・忠類地区 10件 地域不明 1件）

2 舎飼いなどの飼養形態の違いから

2件（南勢牧場 0件・忠類地区 2件）

3 費用の問題

1件（南勢牧場 0件・忠類地区 1件）

4 繁殖管理の問題

4件（南勢牧場 2件・忠類地区 1件 地域不明 1件）

5 家畜の輸送の問題

5件（南勢牧場 4件・忠類地区 0件 地域不明 1件）

6 預ける期間（5月～10月）が制限されているから

12件（南勢牧場 5件・忠類地区 7件）

7 その他

・伝染病が怖い

・他の育成牧場に通年預託している

・過去に預託したことはあったが、非常に粗暴になって戻ってきたり、

肢肺の障害や疾病で挽回できないほど成長が悪くなってから発見されて下牧したりしたため利用をやめた

- ・病気感染の可能性があるから
- ・和牛経営中止の為
- ・育成管理技術

○町営牧場を利用しない理由の1番が「自家（社）牧場で間に合っているから（29件）」で、次は「預ける期間（5月～10月）が制限されているから（12件）」となっている。

設問7 町営牧場についてなにかご意見があれば教えてください。

【肯定的な意見】

- ・草地管理をよくして（雑草対応やそうじ刈りなど）美味しい草を作ってほしい。出来れば大きくなって帰ってきてほしい
- ・近年は新たな感染症の発生もあり、中々難しいとは思いますが対策と調子の悪い牛の早期発見に務めたり、矛盾する話ではあるが人慣れをある程度させるシステムを構築できれば利用を再度検討したい
- ・現在、今後も、酪農家の規模は大きくなっていく中で、哺育・育成の預託の重要性・必要性は増々高くなっていくと考えられます。ただ、預託先の管理技術や飼料状況が劣っている牧場には、中々預託するという決断は出来ないものです。育成技術が向上し、その結果預けた育成牛が良くなっても、それが町営牧場で働いている職員のモチベーションの向上につながるような体制にすることが大切だと思います。第三者機関の運営の移管も一つの方法かもしれません
- ・今後とも本町の畜産業の支えとなってくれる牧場であってください。
- ・幕別の畜産振興のために頑張ってください
- ・高規格道路、更別→忠類から眺める町営牧場の絶景は最高

【否定的な意見】

- ・忠類の牧場について、2年程前から草地の完全更新をしているが、意味が分からない。山野放牧にあたるだろうが、そういった放牧地は（放牧手法は）コストをかけずに粗放的に、他の作物の栽培が困難な耕作不適地を利用していくのが前提である。そこに全てをかけて完全更新をするのは本末転倒である。更に言えば、斜面の草を枯らし深耕すれば土壌の流失や崩壊を招き植生の再生が困難になることは都会の人でも知っている。それに町の予算をかけて実施してことに大いに疑問がある。高速道路から見ればハゲ山が忠類の景観を損ねる

4 協議事項

協議第1号 令和8年度町営牧場運営計画について

(1) 令和8年度入牧頭数見込みについて

	収容容認頭数		R8年入牧見込み頭数		備 考		
共栄牧場	400	頭	600	頭	乳用牛	150	頭
					肉用雌牛	50	頭
晩成牧場	400	頭			乳用牛	400	頭
					肉用雌牛	0	頭
中当第2牧場	150	頭	休止		乳用牛		頭
					肉用雌牛		頭
南勢牧場	650	頭	500	頭	乳用牛	500	頭
					肉用雌牛	0	頭
	1,600	頭	1,100	頭			

(2) 令和8年度の預託期間について

5月中旬から10月上旬を予定するが、草地の状況等により決定する。

(3) 令和8年度町営牧場の運営について

① ワクチン接種について

南勢牧場⇒牛6種混合ワクチンを接種。

忠類地区⇒牛5種混合不活化の2回打ち又は牛6種混合ワクチンを接種。

② 牧場間の移動について（忠類地区）

晩成牧場で妊娠が確認できた牛を共栄牧場に移動する。

(4) 令和8年度町営牧場作業員の配置体制について

① 忠類地区 6人体制（共栄・晩成牧場）

② 南勢牧場 5人体制

協議第2号 令和8年度町営牧場収支予算案について

歳入 ※予算内示内容 (千円)

科 目	R8年度 予算額 (a)	R7年度 決算見込	R7年度 当初予算額 (b)	対 比 (a)-(b)	備 考
入 牧 料	32,708	31,920	32,708	0	乳用牛 950頭、肉用雌牛 50頭
捕 獲 料	1,000	950	1,000	0	500頭
その他の収入	1,167	1,167	1,167	0	生牧草売払い 11.58ha*/5.9万円(683) 駆虫薬畜主負担分 40箱*24,200円/2 (484)
合 計	34,875	34,037	34,875	0	

歳出 (千円)

科 目	R8年度 予算額 (a)	R7年度 決算見込	R7年度 当初予算額 (b)	対 比 (a)-(b)	備 考
報 酬	127	64	127	0	委員報酬 8名*3回
人件費	38,496	33,378	36,442	2,054	フルタイム給料6人(13,168)、時間外(264)、パート タイム報酬5人(9,256)、期末勤勉手当11人 (7,175)、通勤手当(579)、共済費他(7,781)、費用 弁償(273)
需用費	31,117	30,010	30,010	1,107	消耗品(550)、肥料代(20,869)、光熱費(2,569)、 修繕費(3,656)、医薬材料他(3,473)
役務費	938	890	912	26	電話料(181)、車検手数料(95)、 車輛・建物損害保険料他(662)
委託料	4,943	4,396	8,151	▲ 3,208	肥料散布料、南勢浄化槽管理、共栄ポンプ管理 他
使用料	1,625	1,525	1,525	100	重機借上料、牧場間移動運搬他
工事請負費	0	0	0	0	
原材料費	1,300	1,100	1,100	200	牧柵等施設補修資材他
備品購入費	0	22	0	0	
その他の支出	181	145	166	15	自動車重量税(140)、旅費(41)
合 計	78,727	71,530	78,433	294	
収支差引	▲ 43,852	▲ 37,493	▲ 43,558	▲ 294	

5 その他